

校内研修 ～授業改善に向けて～

本年度は、探究的な学習の単元開発・実践・改善を通して、「主体的に学びを深める児童の育成」を目指して校内研修を行っています。生活科や総合的な学習の時間を中心に校内研修を行っています。また、他教科でも課題解決型の授業づくりに取り組んでいます。1年生算数科の協議会では、児童にとって主体的に取り組める授業になっていたか、ねらいに沿った効果的な授業になっていたかを視点に意見交換し、よりよい授業になるように研修に取り組んでいます。



1年生 算数科 ひきざん
低学年は、具体物や図を用いて、算数で学んだことのよさや楽しさを学ぶことが大切である。
子どもの実態を捉え、日々の指導を積み重ねて算数の力をつけていってほしい。
講師 広島県教育委員会
前田大輔指導主事

人権の花贈呈式 ～1年生～

11月18日(金)に体育館で、人権の花贈呈式を行いました。「じんけんまもる」くんや人権擁護委員の林様ほか4名の方がお越しになりました。贈呈式は1年生が主体となり、司会やあいさつなどの役割を分担しながら式を進めました。しっかり相手を見て、人権擁護委員さんのお話や紙芝居を聞くことができました。相手を思いやる優しい心で、いただいた人権の花「ヒヤシンス」を育てていってほしいです。



認知症サポーター養成講座 ～4年生～

11月21日(月)に海田町役場長寿保険課の佐々木様をお迎えして、認知症サポーター養成講座を行いました。認知症の正しい知識を教わったり、認知症の方にどのようなことができるか、クラスで考えたりしました。接するときは、「急がせない」「驚かせない」「自尊心を傷つけない」ことが大切であることを学びました。



認知症になった時の視野
体験をしています

学校評価 中間報告

10月25日の海田西中学校区学校運営協議会で中間報告をしました。

	重点項目	評価指標	評価	学校運営協議委員からのコメント
確かな学力の育成	学力の定着	○学力調査及び期末テストで全国平均を上回った人数の割合を80%以上にする。 【中間結果】81%	3	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板も活用し「ICT」活用に取り組んでいる。 子供達の生き生きとした表情や活発的な議論をする様子に安心した。 学力向上のための全児童への様々な取組とともに個別指導などよく努力している。 本に触れる機会を増やす取組を丁寧に行っている。 給食時間に本の読み聞かせの放送をすることで読書に興味をもってもらう改善策になる。 ビブリオバトルの様子を見てみたい。
	読書活動の推進	○1週間で5回以上読書をする児童の割合を90%以上にする。 【中間結果】94.8%	3	
豊かな心の育成	美しい環境づくり	○無言掃除ができている縦割り班の割合を80%以上にする。 【中間結果】95%	4	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶は、高学年が手本となるのが肝心であるため、班長等も入れたリーダーを養成することが大切である。 朝の挨拶に参加したが、進んで自分の方から挨拶する児童は少なかった。家庭内を含め、地域活動の中で少なくとも知っている人には大きな声で挨拶が出来るように、さらに指導していくことが必要である。
	道徳的実践	○相手を見て自分から挨拶が出来る児童の割合を80%以上にする。 【中間結果】66.9%	1	
健やかな体の育成	運動好きな子供の育成	○運動が好きな割合を80%以上にする。 【中間結果】91.5%	3	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中から体を動かす楽しさが分かる。今から寒くと、外で遊ぶことが少なくなるのが課題である。 歯みがきは、家庭生活が軸となるので、家庭の協力が大切である。
	歯を磨く習慣をつくる	○朝・昼・夜に歯を磨く児童の割合を80%以上にする。 【中間結果】84.3%	3	
信頼される学校	子供と向き合う時間の確保	○「子供と向き合う時間の確保ができてい」の割合を80%以上にする。 【中間結果】80%	3	<ul style="list-style-type: none"> 様々な状況の中で業務効率化を意識され、いろいろ努力されている。個人業務の時間外オフを設定し、リフレッシュしながらより効果的な業務が行えるような体制ができるとよい。 地域人材の活用はすばらしいことである。その他にも地域人材の活用を検討してほしい。
	地域との連携強化	○全学年、毎月1回以上地域人材を生かした学習活動をする。 【中間結果】29回	4	

学校運営協議委員からいただいた意見を参考にし、これからの対策を検討し、実行していきます。

